

一 清和初出使于平年七月五日 任平公  
一 清和初出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

任平公 出使于平年七月五日 任平公

延和元年 三月五日  
 延和元年 三月十日  
 延和元年 三月十五日  
 延和元年 三月二十日  
 延和元年 三月二十五日  
 延和元年 三月三十日  
 延和元年 四月五日  
 延和元年 四月十日  
 延和元年 四月十五日  
 延和元年 四月二十日  
 延和元年 四月二十五日  
 延和元年 四月三十日

延和元年

延和元年 三月五日  
 延和元年 三月十日  
 延和元年 三月十五日  
 延和元年 三月二十日  
 延和元年 三月二十五日  
 延和元年 三月三十日  
 延和元年 四月五日  
 延和元年 四月十日  
 延和元年 四月十五日  
 延和元年 四月二十日  
 延和元年 四月二十五日  
 延和元年 四月三十日

延和元年 三月五日  
 延和元年 三月十日  
 延和元年 三月十五日  
 延和元年 三月二十日  
 延和元年 三月二十五日  
 延和元年 三月三十日  
 延和元年 四月五日  
 延和元年 四月十日  
 延和元年 四月十五日  
 延和元年 四月二十日  
 延和元年 四月二十五日  
 延和元年 四月三十日

一 定て留傳而身有以自給之也  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
中流の運送を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の

一 河川の運送を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の

一 揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の

一 揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の

揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の  
揚子江の流運を以て貨物運入の

御筆奉 御筆奉 御筆奉  
此は御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉

一 御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉

御筆奉

御筆奉

御筆奉

御筆奉

一 御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉  
御筆奉の御筆奉

Handwritten characters at the top of the right page, possibly a title or header.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten characters in the upper middle section of the right page.

Handwritten characters in the lower middle section of the right page.

Handwritten characters on the left side of the right page, near the gutter.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.

Handwritten characters on the left side of the right page, continuing the text.





此書目錄

一 古史

二 諸國之通商

三 支那之通商

總論

三 或石名 詳見各卷

一 支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

一 石名

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商

支那之通商



西遊入申

東の口

神宮院様御湖法蓮華申用候

申上候事

四月廿一日

右様御座候事

申上候事

申用候事

珍事申候事

一 澤平海濱御座候事

申上候事

申上候事

申上候事

珍事申候事

申用候事

一 澤平海濱御座候事

申上候事

申上候事

申上候事

申上候事

申上候事

右書を新に新に改訂せしむる事あり  
其の改訂の内後中絶する事あり  
其の改訂の事あり

九月廿一日

例用ノ

一 此書は新に改訂せしむる事あり  
其の改訂の内後中絶する事あり  
其の改訂の事あり

此書は新に改訂せしむる事あり  
其の改訂の内後中絶する事あり  
其の改訂の事あり

九月廿一日

一 此書は新に改訂せしむる事あり

永代解 功第

右書は新に改訂せしむる事あり  
其の改訂の内後中絶する事あり  
其の改訂の事あり

九月廿一日

三日凡

月信

一 此書は新に改訂せしむる事あり  
其の改訂の内後中絶する事あり  
其の改訂の事あり



如事物系正しき事未だ存せず

其の事

一 己の心を正しき道に在るに由りて其の徳を修めんと欲す  
之より先其徳を修むるに由りて其の心を正しむるに由りて其の徳を修めんと欲す  
此の二の道は同一にして其の先後の別あり

九日

(徳の修むるに由りて其の心を正しむるに由りて其の徳を修めんと欲す)

此の二の道は同一にして其の先後の別あり

此の二の道は同一にして其の先後の別あり

白日書

二節三書

一 己の心を正しき道に在るに由りて其の徳を修めんと欲す

此の二の道は同一にして其の先後の別あり

一 己の心を正しき道に在るに由りて其の徳を修めんと欲す

此の二の道は同一にして其の先後の別あり

一 己の心を正しき道に在るに由りて其の徳を修めんと欲す

此の二の道は同一にして其の先後の別あり

一 己の心を正しき道に在るに由りて其の徳を修めんと欲す

此の二の道は同一にして其の先後の別あり

一 己の心を正しき道に在るに由りて其の徳を修めんと欲す

此の二の道は同一にして其の先後の別あり



一 貞徳天皇御事  
二 貞徳天皇御事  
三 貞徳天皇御事

あひま  
日誌

一 貞徳天皇御事  
二 貞徳天皇御事  
三 貞徳天皇御事  
四 貞徳天皇御事  
五 貞徳天皇御事  
六 貞徳天皇御事  
七 貞徳天皇御事  
八 貞徳天皇御事  
九 貞徳天皇御事  
十 貞徳天皇御事

一 貞徳天皇御事  
二 貞徳天皇御事  
三 貞徳天皇御事  
四 貞徳天皇御事  
五 貞徳天皇御事  
六 貞徳天皇御事  
七 貞徳天皇御事  
八 貞徳天皇御事  
九 貞徳天皇御事  
十 貞徳天皇御事

一 貞徳天皇御事  
二 貞徳天皇御事  
三 貞徳天皇御事  
四 貞徳天皇御事  
五 貞徳天皇御事  
六 貞徳天皇御事  
七 貞徳天皇御事  
八 貞徳天皇御事  
九 貞徳天皇御事  
十 貞徳天皇御事



仕方の先令の目録の如き事と云ふ事公家も仕  
通事も格も存心悔之悔之悔之悔之悔之悔之  
仕方の先令の目録の如き事と云ふ事公家も仕  
通事も格も存心悔之悔之悔之悔之悔之悔之  
仕方の先令の目録の如き事と云ふ事公家も仕  
通事も格も存心悔之悔之悔之悔之悔之悔之  
仕方の先令の目録の如き事と云ふ事公家も仕  
通事も格も存心悔之悔之悔之悔之悔之悔之  
仕方の先令の目録の如き事と云ふ事公家も仕  
通事も格も存心悔之悔之悔之悔之悔之悔之

日直臣等

林泉寺 御宗信之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに  
上之旨に依りて仕立上り申すに

文政三年二月廿九日

一 寺内より宗室私通流刑に依りて入



十日

日信

一 身入

印目

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

一 形原の心

竹抄傳目  
得升各月

長子行所年旅  
抄付各月各月

宗廟社稷神土物多不有月其以社在國至  
部備社備方按八里斗神合社合社多事  
古事神合神一乃乃高上社多般多其行  
其西社多事多事多事多事多事多事多事  
三事社備一南一乃乃月社多般社下其  
宗廟社稷神土物多不有月其以社在國至  
部備社備方按八里斗神合社合社多事  
古事神合神一乃乃高上社多般多其行  
其西社多事多事多事多事多事多事多事  
三事社備一南一乃乃月社多般社下其  
宗廟社稷神土物多不有月其以社在國至  
部備社備方按八里斗神合社合社多事

中自來より宗廟社稷神土物多不有月其以社在國至  
部備社備方按八里斗神合社合社多事  
古事神合神一乃乃高上社多般多其行  
其西社多事多事多事多事多事多事多事  
三事社備一南一乃乃月社多般社下其  
宗廟社稷神土物多不有月其以社在國至  
部備社備方按八里斗神合社合社多事  
古事神合神一乃乃高上社多般多其行  
其西社多事多事多事多事多事多事多事  
三事社備一南一乃乃月社多般社下其  
宗廟社稷神土物多不有月其以社在國至  
部備社備方按八里斗神合社合社多事

抄付各月各月  
抄付各月各月

一 御書多より御書多より  
寺社多より御書多より  
寺社多より御書多より  
寺社多より御書多より



平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

平家朝臣  
平家朝臣  
平家朝臣

一 王社 御書付 御書付 御書付 御書付 御書付  
御書付 御書付 御書付 御書付 御書付  
御書付 御書付 御書付 御書付 御書付  
御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

子子子子子  
村上三郎

御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付  
御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付  
御書付 御書付 御書付 御書付 御書付  
御書付 御書付 御書付 御書付 御書付  
御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

考る事久しき事なほ通ひの事なほつゝおれりし事  
十の事なほおれりし事なほ通ひの事なほつゝおれりし事  
おれりし事なほおれりし事なほ通ひの事なほつゝおれりし事  
おれりし事なほおれりし事なほ通ひの事なほつゝおれりし事  
おれりし事なほおれりし事なほ通ひの事なほつゝおれりし事

御用

一 御用  
御用  
御用

御用  
御用  
御用

御用

御用  
御用  
御用

御用

御用  
御用  
御用

御用

御用  
御用  
御用

九日晴

月橋

一 身力

一 南

一 烟人

一 古

一 身

一 目

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 心

一 山行記 山行記 山行記

山行記 山行記 山行記

山行記 山行記 山行記

山行記 山行記 山行記

山行記 山行記 山行記

山行記 山行記 山行記

山行記 山行記 山行記

山行記

山行記

山行記

山行記

山行記 山行記 山行記

山行記 山行記 山行記



Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Handwritten text on the right page, first line.

Handwritten text on the right page, second line.

Main body of handwritten text on the right page, continuing down.

Handwritten text on the left page, first line.

Handwritten text on the left page, second line.

Handwritten text on the left page, third line.

Handwritten text on the left page, fourth line.

Handwritten text on the left page, fifth line.

Handwritten text on the left page, sixth line.

Handwritten text on the left page, seventh line.

Handwritten text on the left page, eighth line.